

仏華について



仏華は、「その華、光明、無量種の色なり、青き色には青き光、白き色には白き光あり」（仏説無量寿経）と説かれるごとく、浄土の莊嚴をあらわし、かつ仏心の清浄すなわち清く穢れのないことを具現していると言われます。それは私たちの日ごろの欲に追われる《貪り（むさぼり）》の姿に対比するものです。

《貪り》とはためこみ、とどめる、ということで、その反対が清浄であるならば、うつりかわり、とどまることなく、流れていくことが清浄ということでしょう。

このまま、今のままを許さないということが、清らかで穢れないものとして表現されているのが、生花をつかう意味であり、仏華です。

仏華研究会「ちいちの華」では、立華の基本である池坊流の華法をふまえつつ、微妙の法を説きたもう如来の《はたらき》としてのお華を旨として、研究を重ねております。

会の活動内容

● 御遠忌・落慶法要・結婚式等の出張立華



● 仏華講習会への講師派遣



■ 費用・内容等詳しくは事務局までご相談ください。



フェイスブック・ユーチューブでも情報を
発信しています。ぜひご覧ください！

お問合せ：第13組即念寺・洲崎(06-6908-3928)